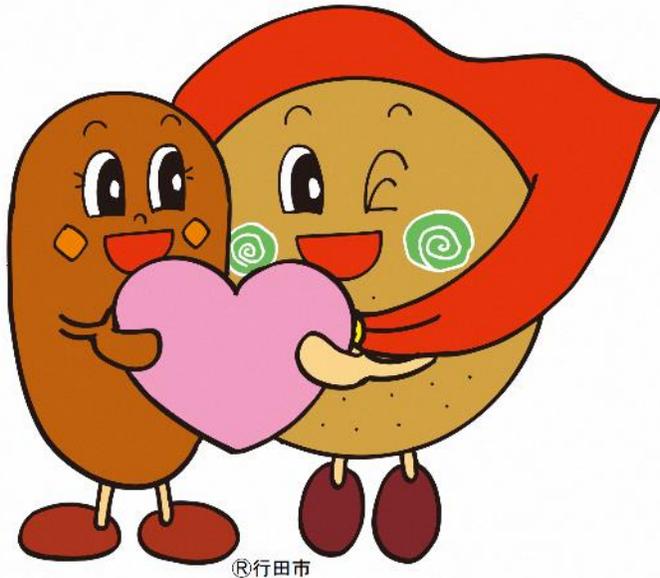
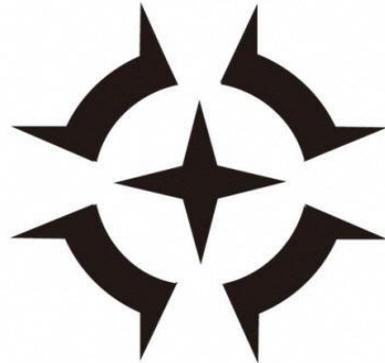


# 日本遺産を巡り、歴史と出会う ウォーカブルなまち 行田



こぜにちゃん フラベえ



行田市

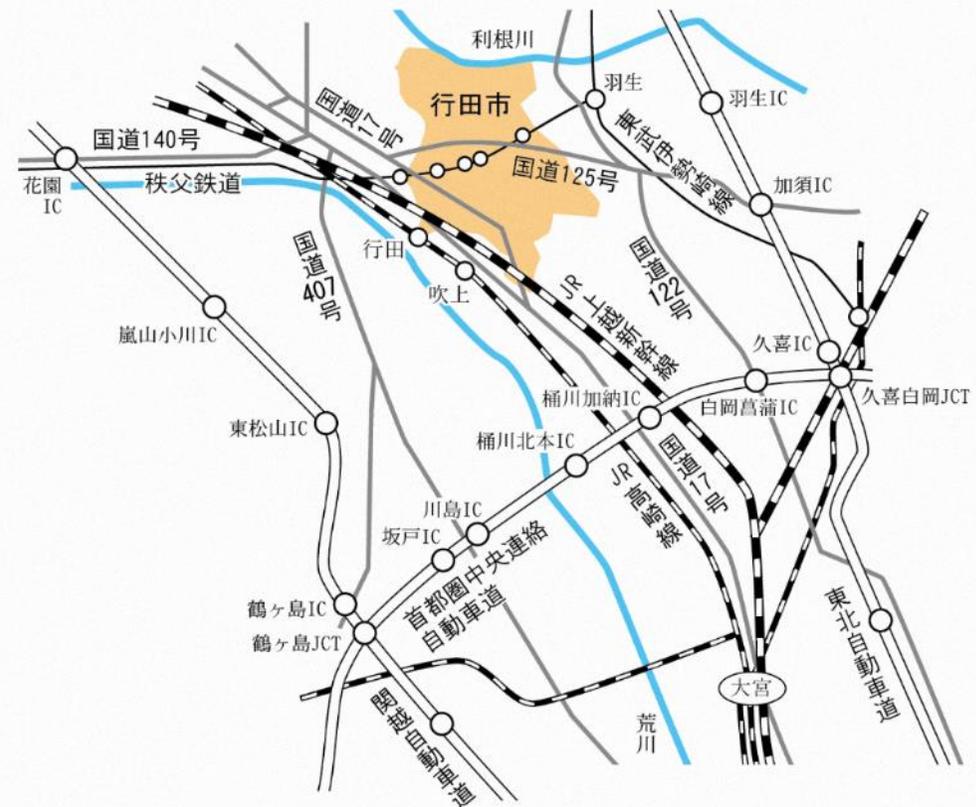
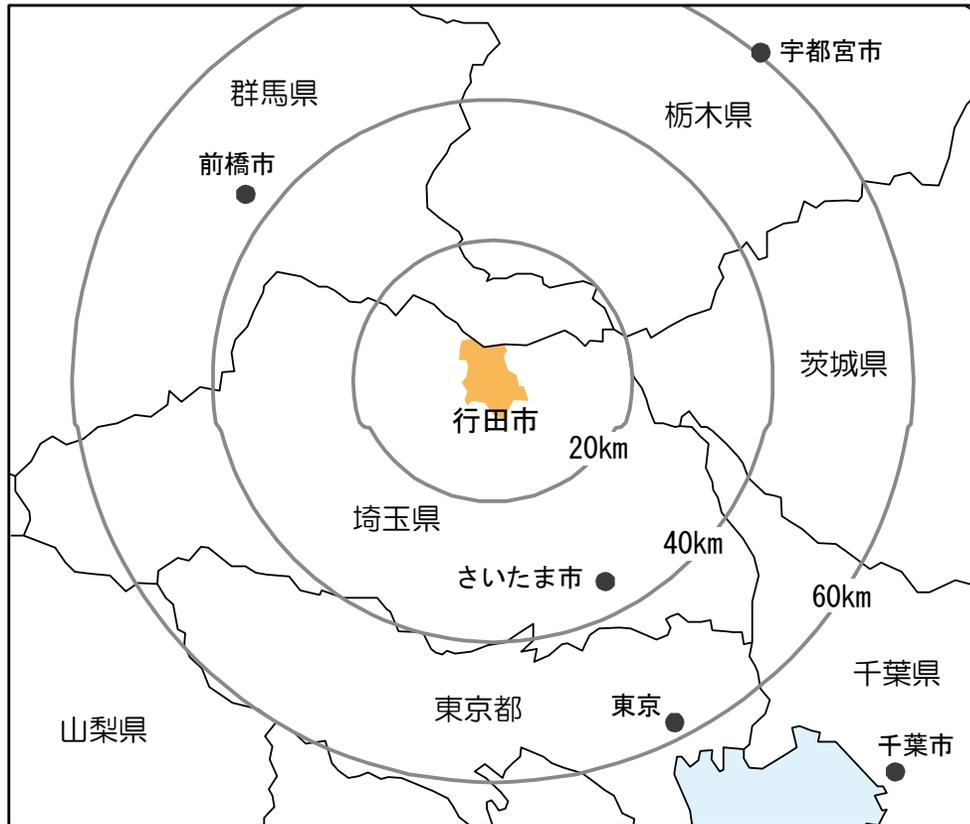
都市整備部 都市計画課

芹澤勝己

# 行田市の紹介

# 行田市の概要

- ◆ 埼玉県の北部に位置し、東京都心まで約60km。
- ◆ 市の南西部にJR高崎線、市の中央部を東西に秩父鉄道が走り、通勤・通学の足となっている。
- ◆ 東北自動車道、関越自動車道、圏央道の各インターチェンジへのアクセスが可能。
- ◆ 人口は約7万8千人。今後、人口減少が見込まれ、令和22年には現在の約7割となる見通し。



# 行田市の歴史

- ◆古墳時代には、国宝「きんさくめいてっけん金錯銘鉄剣」が出土した稲荷山古墳や、日本最大級の円墳である丸墓山古墳など多数の古墳が造営された。
- ◆戦国時代、忍城は石田三成の水攻めに合うも、これに耐えたことで、以後「浮き城」と呼ばれる。
- ◆昭和初期、足袋産業が最盛期を迎え、全国生産の80%を占めていた。

埼玉古墳群



忍城御三階櫓



足袋蔵



# 行田市の特徴

本市には「行田足袋」や「忍城」等地域資源が豊富にあり、これら資源により構成されるストーリー「和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田」は、埼玉県で唯一日本遺産に認定されている。

## 【 特産品 】



ゼリーフライ



古代米カレー

## 【 祭 】



春祭り  
浮き城まつり  
とうろう流し納涼大会

行田酉の市など

# 行田市の特徴

## 【その他イベント】

行田花手水  
ライトアップイベント  
「希望の光」

行田はちまんマルシェ  
など



## 【観光地】

埼玉古墳群  
古代蓮の里  
水城公園  
足袋蔵  
蒸気機関車貴婦人など



ギネス世界記録に  
認定された  
「田んぼアート」



忍城址

# 行田市の魅力（日本遺産について）

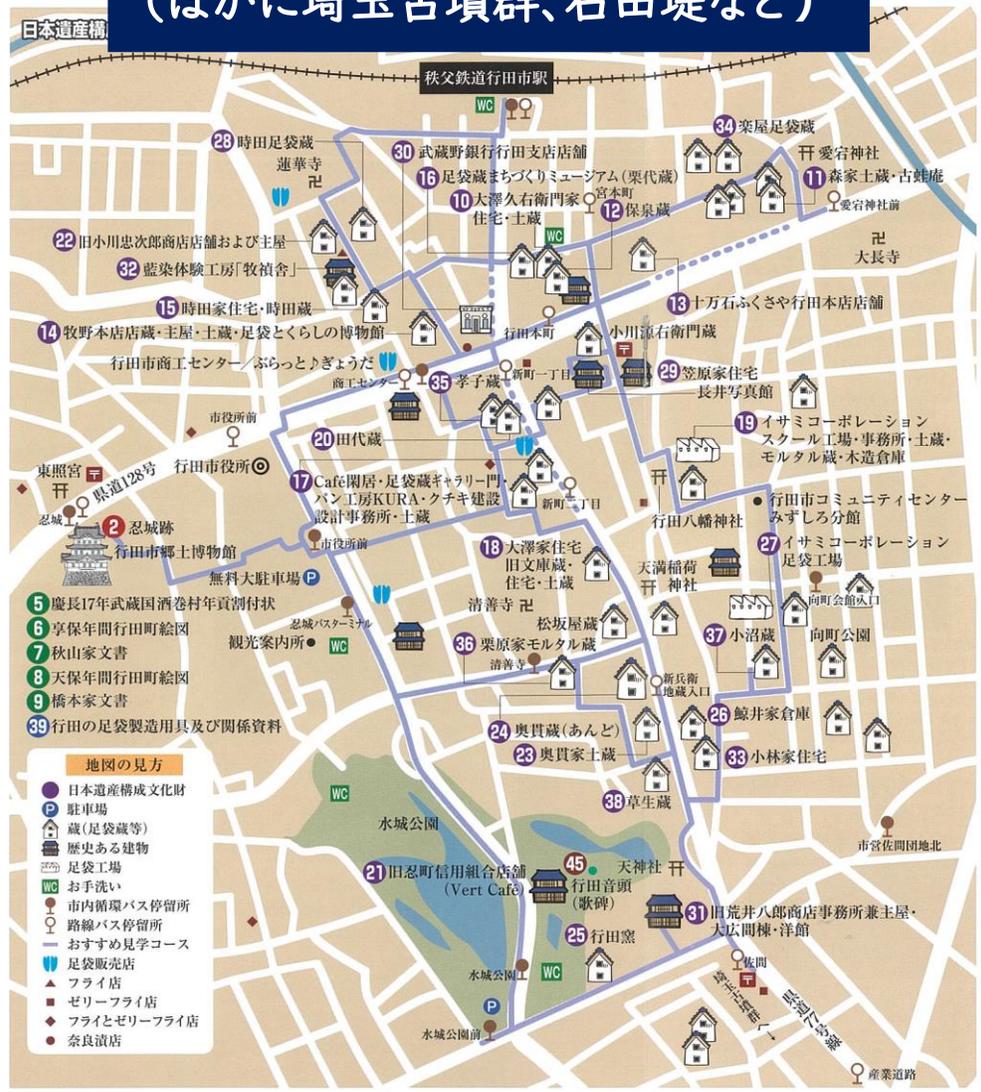
- ・かつて行田市は、日本一の足袋生産地として知られ、最盛期には全国シェアの8割を占めるなど「足袋の行田」として広く知られていた。
- ・市内には、足袋産業全盛期を偲ばせる足袋の倉庫「足袋蔵」が数多く現存しており、県内唯一の日本遺産にも認定されている。
- ・市内中心部の景観も歴史を感じられるものとなっており、まち歩きもできる。



# 行田市の現状

# 魅力はたくさんあるのに・・・

## 行田市 日本遺産構成資産 (ほかに埼玉古墳群、石田堤など)



- ◆ まちなかには、日本遺産の構成資産が複数あるが、生かしきれていない。
- ◆ 本市に点在する他の観光資源との回遊性が乏しい。
- ◆ 人口減少や少子高齢化に伴い、まちなかの活力低下や空き家・空き店舗の増加などの課題が顕在化している。
- ◆ 行田はちまんマルシェや花手水などイベントを定期で開催しているが、効果は限定的である。
- ◆ 行田市の魅力を皆さんに伝えられていない・・・



# 行田市の目指す姿

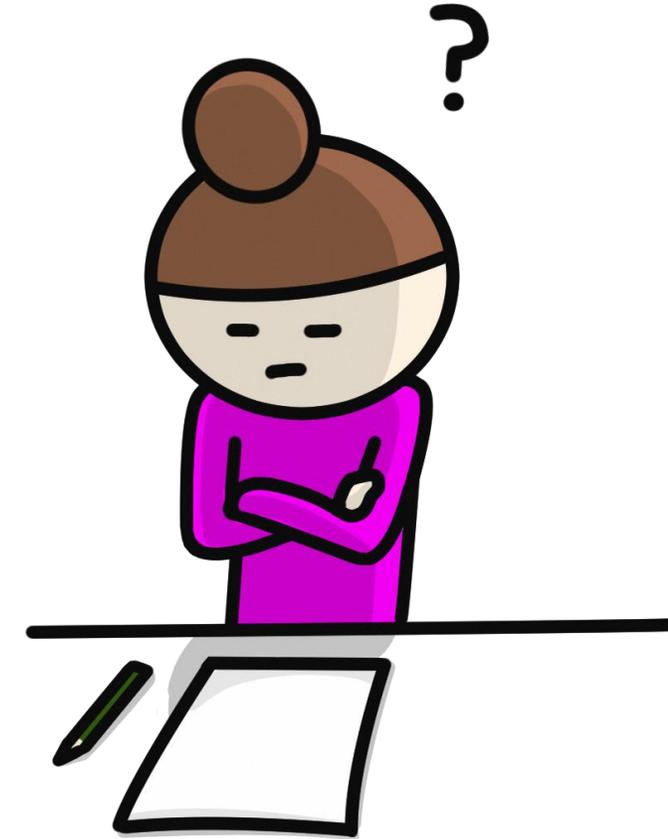
忍城址や足袋蔵を活かした

地元住民も観光客も歩きやすい

ウォーカブルなまちへ

# 行田市が考えるウォーカブルなまちって??

- ・『気軽に歴史と出会える』まち
- ・『つい』外に出たくなる、歩いてみようと思えるまち
- ・『きれいな街並みがひろがる』まち
- ・地元住民の方が『安全安心で住みやすい』まち



# 目指すための第一歩

# 目指すための第一歩

## 安心して歩ける、楽しく歩けるまちにしたい!

歩きやすく  
『気軽に歴史と出える』  
楽しく歩けるまち



常にまちなかを  
人が周遊している  
『にぎわいがある』  
楽しく歩けるまち



観光地の途中にカフェなどの  
くつろげる場所があり、  
『行きも帰りも楽しめる』  
楽しく歩けるまち



空き店舗がなく  
『安全安心で住みやすい』  
安心して歩けるまち

# こんな人に歩いてもらいたい①

大宮 育代(33)

ご家族：夫(35)、子(5)

職業：プログラマー

大宮から花手水を見に来ました。

趣のある店が多く、カフェで一休みしてから  
買い物でもして帰ろうかな。

道も歩きやすく、子連れにも優しいまちで、  
気軽に来られていいですね。



## こんな人に歩いてもらいたい②

行田 太郎 (66)

ご家族：妻 (63)

職業：定年退職

定年退職を機に行田市に戻ってきました。

まちににぎわいもでき、歩いている若い人も増えてきたので、私たちの気分まで若くなります。

今度、孫と一緒にまちを散策してみようと思います。



# 行田市の過去～現在の取組み

# 行田市の過去～現在の取組み（安心して歩けるまち）

- ・観光案内所整備
- ・城下町であったことをイメージできる石畳風の舗装整備
- ・足袋蔵等の点在する中心市街地への回遊を促す街なかサイン整備
- ・せせらぎ、遊歩道の整備
- ・はちまん通りの景観整備



# 行田市の過去～現在の取組み（楽しめるまち）

- ・行田はちまんマルシェや忍城のライトアップ、花手水などイベントを定期開催
- ・スマホアプリ「言な絶えそねー行田創生RPGー」の配信
- ・観光レンタサイクル
- ・忍城おもてなし甲冑隊
- ・フライ・ゼリーフライマップ
- ・観光物産館ぶらっと♪ぎょうだ
- ・足袋とくらしの博物館



# 行田市の課題

# 行田市の課題

## ■ 安心して歩けるまち

- ・道路の美装化を実施しているが十分ではなく、歩きにくい箇所が点在している

## ■ 楽しめるまち

- ・人口減少により市内中心部の空き地や空き店舗も目立っていて寂れた感じになっている
- ・平日に観光客が少ない（観光資源をうまく活用しきれていないのではないか）

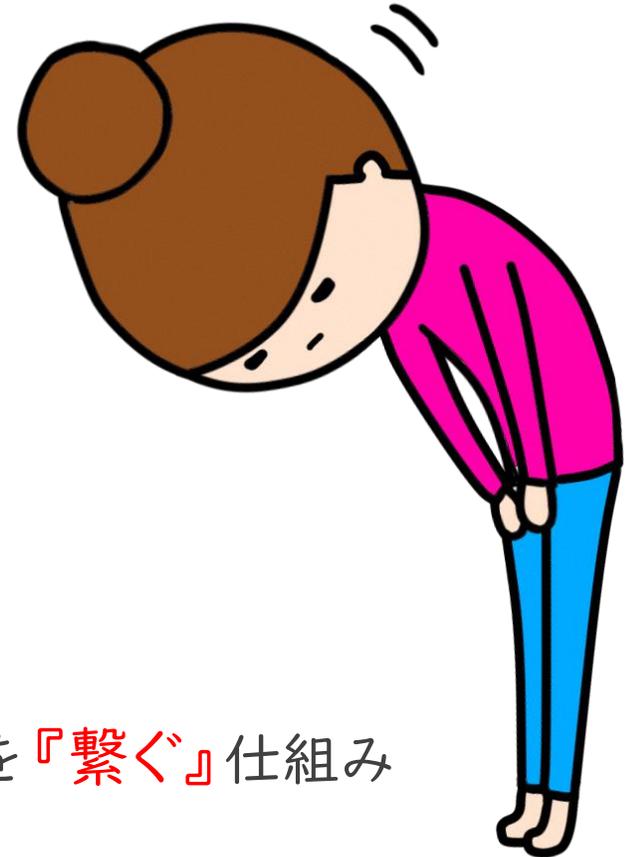
ご提案いただきたい事

# ご提案いただきたい事

## 歩行者が安全で安心して歩いて楽しくなるような仕組み

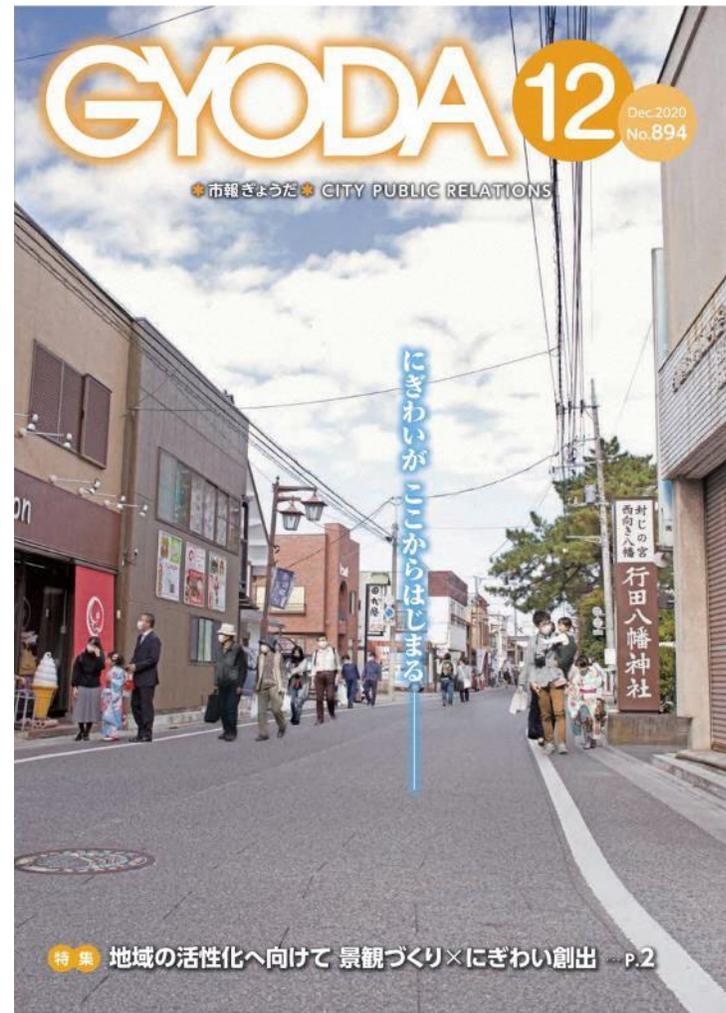
例えば…

- ・『**まち全体が元気**』になる仕組みやツール
- ・商店街の『**活性化**』につながるアイデア
- ・忍城址周辺の空き家・空き店舗の利活用した行きも帰りも立ち寄れる『**くつろげる場**』の提案
- ・行田市駅周辺地域が『**賑わう**』仕組み
- ・まちなかと離れた場所にある観光資源(さきたま古墳群や古代蓮の里)を『**繋ぐ**』仕組み
- ・行田市の『**魅力発信**』する仕組み



# 行田市が提供できるリソース

- ① 実証実験フィールドの利用調整
- ② 市の保有資産
- ③ HP・広報誌による周知
- ④ 他部署との連携調整



# まとめ

# まとめ

## 行田市の想い

- ・日本遺産を核とした、地元住民も観光客も歩きやすいウォークブルなまちへ

## 行田市が困っていること

- ・まちなかの活力低下、空き地・空き店舗の増加
- ・観光客・地元住民の歩きやすい環境の整備

## 企業側に求めること

- ・歩行者が安全で安心して歩いて楽しくなるようなまちづくりの提案
- ・まちなかを活性化させるためのアイデア
- ・歩行者空間および憩いのスペースをネットワーク化

## 行田市と共創するメリット

- ・官民連携事業のノウハウの蓄積
- ・共通の課題を抱えている自治体への横展開

忍城址や足袋蔵を中心とした

ウォークアブルなまちづくりを民間企業の皆様と一緒に

進めていきたいと考えております。

ご提案をお待ちしております。

